

山形県沖GPS波浪計の係留索（チェーン） 摩耗による緊急引き上げについて

東北地方整備局が山形県酒田市沖合約19kmの海上に設置している「山形県沖GPS波浪計」について、水中カメラによる係留索調査を実施した結果、立上部の係留索（チェーン）の摩耗が確認されました。

この先、冬季風浪等により係留索の破断が想定され、その際に流失の危険性が懸念されることから、令和元年9月に「山形県沖GPS波浪計」の緊急引き上げを行います。このため、波浪観測が一時停止となります。

今後、東北地方整備局としては、摩耗原因の対策を講じ、早期復旧に努めて参ります。

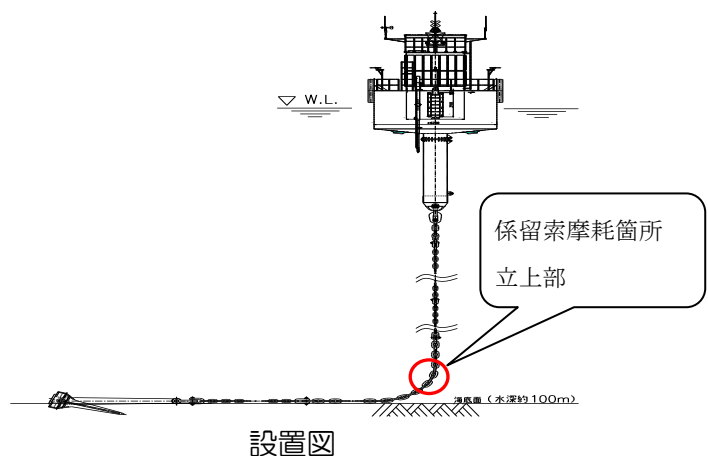
【GPS波浪計】

- GPS波浪計とは、港湾整備に必要な沖合波浪を観測する目的で設置したもので、観測データについては、全国港湾波浪情報網（ナウファスHP）※1で公表しています。
- また、地震発生時には、津波観測も可能であることから、気象庁に観測データを提供しており、気象庁の津波情報にも利用されています。

※1：全国港湾波浪情報網（ナウファスHP）<http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/>
（国土交通省港湾局が運営する我が国沿岸の波浪、潮位等の観測網のホームページ）



山形県沖GPS波浪計



【発表記者】宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、酒田記者クラブ

【問合せ先】国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部

電話022(716)0004 海洋環境・技術課 課長 佐々木 均、課長補佐 ながの あきら 亮